履歴書

基本情報

氏名 韓 賢宇 (はん ひょぬ)

生年月日 1990年4月5日生 (満32歳)

性別 男

電話番号 080-7563-4990

メールアドレス westegg710@gmail.com

住所 〒177-0054 東京都練馬区立野町 30-6 母力吉祥寺北 202

在留資格配偶者ビザ(就労制限なし)

学歴·職歴

学歴 2007年 3月 韓国 仁川光星高等学校入学 2009年 2月 韓国 仁川光星高等学校卒業 3月 2010年 韓国 建國大学校経済学科入学 (中途退学) 職歴 2011年 韓国 株式会社 DCP 正社員 入社 1月 韓国 株式会社 DCP 退社 2013年 3月 韓国 株式会社 Hyangwoo 正社員 入社 2016年 12月 韓国 株式会社 Hyangwoo 退社 2018年 10月 日本 Drop Inn Osaka パートタイム 入社 2019年 11月 2020年 4月 日本 Drop Inn Osaka 退社 日本 自家製うどん中西 パートタイム 入社 2020年 5月 2020年 12月 日本 自家製うどん中西 パートタイム 退社

資格

2018年	3月	TOEIC 850
2021年	2月	JLPT N1

2020年 6月 日本普通運転免許

自己紹介

私は韓国生まれ韓国育ちの韓国人ですが、2019年以降配偶者(妻)の転勤に伴い日本の大阪に引っ越してきました。日本に来た当初は日本語がほぼできなかったため最初の2年は日本語の勉強とパートタイム(ゲストハウス運営や飲食店)中心の生活を送りました。2020年頭に日本語能力試験(JLPT)2級、2021年頭には最上級の1級を取得し終えました。1年前からは、ソフトウェアエンジニアを目指してプログラミングをしています。

趣味はバスケを中学の部活から始め 15 年ほどやっています。大阪では韓国人バスケチームを立て、キャプテンとして 1 年間チームを運営したこともあります。最近はランニングにはまっていて 週 20km ほど走っています。

現在の日本での在留資格は「就労可能な配偶者ビザ」となり企業側でのビザ取得などは不要で日本国籍者同様に雇用可能なものです。

長所と短所

長所

私の長所は物事や問題についていつも十分な調査を行い、できる限り正確に把握し、最も効率的な方法を見つけようとする態度だと思います。例えば、私は何かしらのツールやアプリケーションを使用する前にそのツールの詳細なスペックと、どうすれば効率的に使えるか、他の似ているツールと比べてどんなメリットとデメリットがあるか、実際のユーザーレビューはどうかを詳しく調べます。このような姿勢は習慣になっています。私はこの習慣は毎日新しいことが続々出てくるIT業界で活かせると思います。技術文書を読んだり書いたりする時はもちろん、チーム内で意見交換をする時も活かされると考えています。

短所

私は新しいタスクの処理や決定などは比較的慎重に行う性格です。その慎重さが好作用することもありますが、迅速さが要求される場合には、速くできなかったり、集中力が落ちる場合があります。そのため、最近は全てのタスクを随時リストアップし、優先順位をしっかり見極めて取り組み、効率的にタスクを処理する練習をしています。

エンジニアへの転職事由

韓国で暮らしているときは家庭の経済的な問題を抱えており、大学卒業を後倒しに色々と仕事をしなければならない状況でした。仕事に対する不満などは特にありませんでしたが、やりがいや楽しさを感じるものでもありませんでした。それから結婚を機に日本に来ることになり、韓国とは異なる環境に適応し、新しい経験をしたり挑戦をする中で「人生のほとんどの時間を占める仕事というものを惰性でやりたくない、やりがいを感じ楽しく意欲的に働ける仕事に就くべきだ」と強く思うようになりました。そのときにソフトウェア業界の開発者たちの話を聞ける機会があり、仕事に対する彼らの愛情、考え方、知識、やりがいなどに強く感銘を受けました。

その時一番感銘を受けたのは Luis von Ahn の TedTalks でした。Luis von Ahn は CAPTCHA を考案した人で、無料で色んな言語を学べるウェブサービスである Duolingo の設立者でもあります。CAPTCHA、または reCAPTCHA はウェブサイトのセキュリティのため必要ですが、OCR で処理できない古書の内容の処理、自動運転技術のイメージ認識などにも使われています。Duolingo は言語学習サービスを無料で提供して全世界の人に機会を提供しています。それと共に学習者たちが学習過程で作った翻訳結果を必要な企業に提供して収益を得ます。reCAPTCHA と Duolingo はいかに収益性を逃さず、世の中に良い影響を与えるサービスを作ることができるかについての解答でした。

私もソフトウェアエンジニアとして成長し、いつかは自分の技術とアイディアを通じて世の中に良い影響を与える人になりたいと思います。

勉強することも楽しいですが、これからはそれに加えて実務で知識を自分のものにし、他の方とも 一緒に働くことで、困難を克服していくやりがいと楽しみを経験していきたいです。